

# 2020

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク  
2020年度活動報告書

Dai Nagoya University Network  
ANNUAL REPORT  
2020

# あなたがいれば、カタチが変わる

ナゴヤを舞台に、  
発見と創造で、  
一人ひとりの世界を変える

「NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク」は、「まち」と「学び」を掛け合わせて生まれたプロジェクト「大ナゴヤ大学」を運営するため、2009年に設立されました。そして現在は、「あなたがいれば、カタチが変わる」という理念を添え、いくつもの活動やプロジェクトをまとめる“器”として、在り方を変化させています。

つねに何かを生み出し続けているまちは、面白い人の宝庫です。そんな人たちとの出会いを通じて、自分の中にすでにあった「未来の可能性」を見つけ、気づきを得て、一人ひとりが行動を変えていく。

「学び合う」場をつくる。  
集った仲間と、活動やプロジェクトを立ち上げる。  
発見と創造があるコンテンツをつくる。  
学び続けることで、一人ひとりの見えている世界が変わる。

この積み重ねが、やがてまちや社会を形づくっていくのではないでしょうか。

「あなたがいれば、まちが変わる」

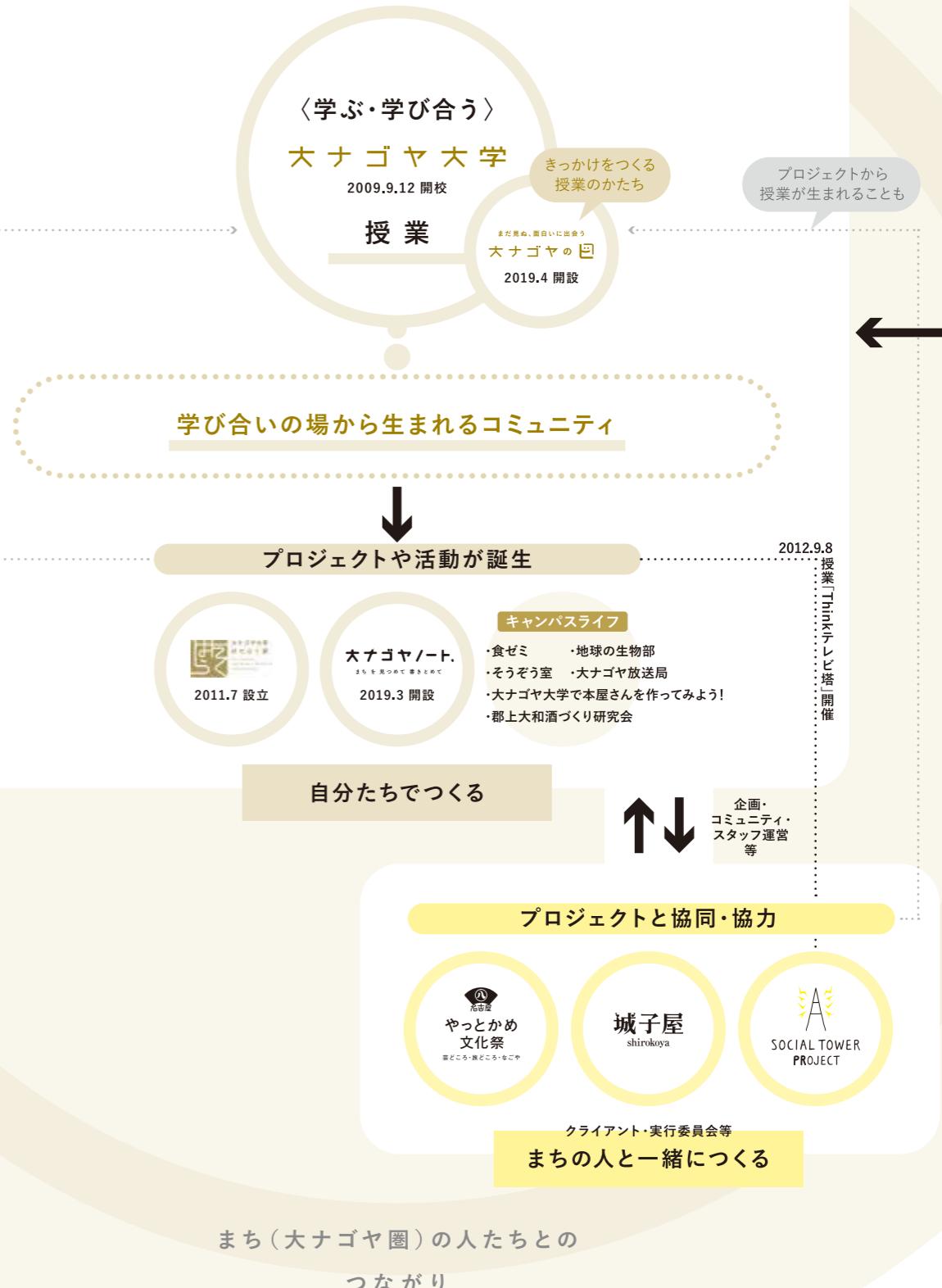
あなたがこのまちの主役です。  
ひとりの想いを大切に、これからも場をつくり続けていきます。

NPO法人  
大ナゴヤ・  
ユニバーシティー・  
ネットワークの全体像

ネットワーク

## NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク(DNU)

2009.12.11 NPO法人認証



Dai Nagoya University Network  
ANNUAL REPORT  
2020

## 自分たちでつくる

ナゴヤのまちをフィールドに、人と人が学びを通し、つながる。  
世代も職業も異なる多様なメンバーが、  
ボランティアスタッフやコーディネーターやエディターとなって  
主体的に取り上げている事業がいくつもあります。



### もくじ

- 05 自分たちでつくる
  - 06-07 大ナゴヤ大学
  - 08 大ナゴヤの日
  - 09 学び合いの場から生まれるコミュニティ
  - 10-11 ボラスタインタビュー
  - 12 はたらく課
  - 13 大ナゴヤノート.
  - 14 キャンパスライフ
- 15 まちの人と一緒につくる
  - 16 やっとかめ文化祭
  - 城子屋
  - SOCIAL TOWER PROJECT
- 17 DNUからのお知らせ
- 18 DNU理事より
- 19 財務報告

## About

※2020年3月末現在

# 大ナゴヤ大学

誰でも先生、誰でも生徒。  
学びの種は、  
まちにあふれている

大ナゴヤ大学には校舎がありません。まちがまるごとキャンパスです。まちの人が先生に、学びたい人が生徒となり、ゆかりの場所が教室に変わります。授業のテーマは、暮らしや働き方、まちの文化・歴史、アート、農業、カルチャー、ものづくり、スポーツなど多種多彩。つねに何かを生み出し続けているまちは、学びの宝庫です。

授業を通じて、  
未来の可能性と出会う

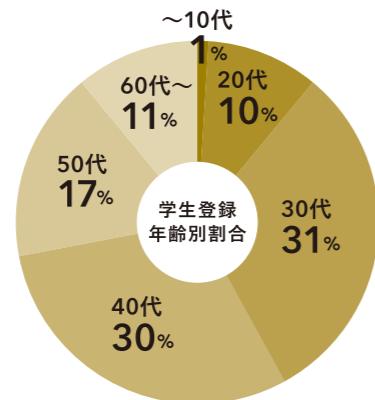
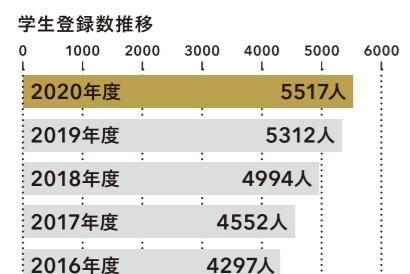
授業は、知識を学ぶだけの場ではありません。先生の言葉が胸に響き、参加者の多様な価値観が交わることで、気づきが芽生え、自分自身を見つめ直す機会にもなります。さまざまなヒト・モノ・コトと出会う経験が糧となって、ライフスタイルが変わった人、新しい挑戦を始めた人もいます。そんな一人ひとりの変化の積み重ねが、まちを変えていくのではないでしょうか。

みんなでつくる、  
学び合いの場

大ナゴヤ大学の授業は、たくさんのボランティアスタッフ(=ボラスタ)と一緒に運営しています。「1人目の生徒として、自分が受けたい授業をつくる」という考えを大切に、コーディネーターとして企画にチャレンジすることも。授業をよりよい場にするための振り返りを行うなど学び合いの場づくりを通じ、自分の想いを言葉にする機会も多く、「ありたい自分」に気づける場所です。

大ナゴヤ大学では、人が集う場をつくり、「授業」という「未来の可能性」と出会うコンテンツを提供しています。

誰でも生徒  
学生登録数 **5517** 人



まちじゅうがキャンバス  
教室 **356** カ所

まちにいるあの人!  
先生 **647** 人

「面白がる視点」で授業づくり  
授業コーディネーター **81** 人

垣根なく集まっています  
ボラスタ **275** 人

## 2020年度実績

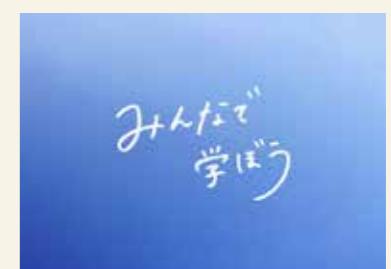
年間授業総数  
2018年度:53コマ  
2019年度:49コマ **32** コマ | 申し込みあり **30コマ** **406** 人 | 視聴のみ **2コマ** 視聴回数: **1248** 回

## PICK UP

## みんなで学ぼう～私たちの「学びの場」の未来

◎開催日時 | 2020年5月9日(土) 16時～17時30分 ◎教室 | オンライン開催  
◎先生 | 猪熊 梨恵(札幌オオドリ大学)、大津 悠季(シブヤ大学)、高橋 マキ(京都カラスマ大学)、平尾 順平(ひろしまジン大学)、岩永 真一(福岡テンジン大学)  
◎授業コーディネーター | 山田卓哉

リアルな場での対話が難しくなった2020年。あらためて、「学び合いの場」の在り方を姉妹校の学長たちに聞いかけました。オンラインだからこそ地域を越えて参加者が集まり、これから授業のカタチに可能性を感じられました。



## 生まれ変わる公園の未来を語ろう！

## ～Think 久屋大通公園～

◎開催日時 | 2020年9月3日(木) 18時30分～20時30分 ◎教室 | オンライン開催  
◎先生 | 成田 冠(CreativeOut株式会社)、大倉 曜(Hisaya-odori Park デザインセンター)  
◎授業コーディネーター | 山田卓哉

「名古屋テレビ塔“終わりは、はじまり”プロジェクト」や「SOCIAL TOWER MARKET」を開催するなど、大ナゴヤ大学にとって縁の深い久屋大通公園。そんな場所のこれからについて考え、まちの人たちの声を聞きました。

若手りんご農園4代目が拓くシードル専門醸造所の生オンライン見学！  
～初出しシードルで乾杯～

◎開催日時 | 2020年7月5日(日) 16時～17時30分 ◎教室 | オンライン開催  
◎先生 | 北沢 肇(有限会社フルーツガーデン北沢／マルカメ醸造所) ◎授業コーディネーター | 橋爪 萌

長野県で若手りんご農家2人が開設した、シードル専門の「マルカメ醸造所」。委託醸造も始めるなど、まちに新たな風をもたらしています。初出荷を迎えたばかりのシードルを手元に、農園や醸造所をオンラインで見学しました。



これまでの授業レポートが見られます！「大ナゴヤ大学」のWebサイトへ



## About

## 大ナゴヤの日

## 大ナゴヤの日・サポーターについて

2020年の一年間は、大ナゴヤ大学に関わるメンバーと意見交換しながら「大ナゴヤの日」の在り方を再構築しました。そして、2021年4月から本格的に再始動。「まだ見ぬ面白いものとの出会い」をキャッチフレーズに掲げ、多種多様なカテゴリーの授業を開催してきます。

あらためて「大ナゴヤの日」を運営していくためサポーター募集にも力を入れていく予定です。

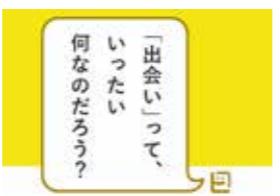
大ナゴヤの日は、「まだ見ぬ、面白い」への扉を開くきっかけの日。毎月第2土曜に多分野の授業を参加費無料で開催しています。



感じたことを、言葉に～  
アート作品の解説文を  
オリジナルで作ってみよう～



目からウロコの野菜の新常識～  
にんじん農家が今考えていること



【大ナゴヤの日 オリエンテーション】  
「出会い」って、  
いったい何なのだろう？



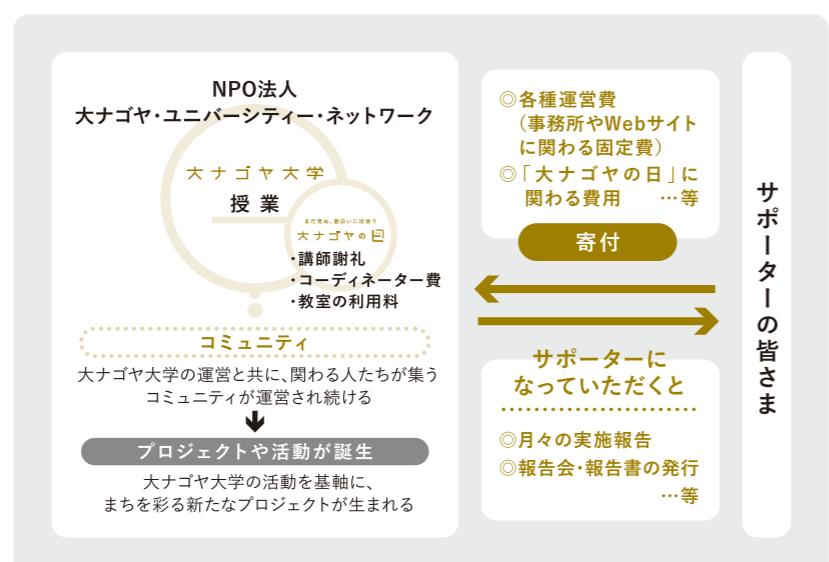
暮らしを旅しよう  
～カメラを通して  
日常に隠れた魅力に出会う～



\*当日の飲食代や材料費などの実費は各自ご負担いただいております。\*8月は「夏休み」としてお休みです。

## 寄付の仕組み

サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代、授業における講師謝礼等に充てさせていただきました。



## 学び合いの場から生まれるコミュニティ

大ナゴヤ大学では、「みんなでつくる」を大切に、授業という“学び”的場をボランティアスタッフ(=ボラスタッフ)と一緒につくりました。

毎月第2土曜の「大ナゴヤの日」を中心に、授業後には「振り返り」の機会を設けるなど、メンバー間での“学び合い”的場としての機能ももたせています。さらに、同日にボラスタッフ同士がお互いをもっと知るためのオンライン交流会「クローズアップ」や懇親会なども開催。定期的に人が集まり、ゆるやかなつながりが広がっていく環境があります。

大ナゴヤ大学の活動を通じて生まれたコミュニティでは、次の2つの言葉を大事にしています。「あなたの好きも みんなの好きも たいせつ」・「学び合いから生まれる 次の一歩」。“好き”という感覚を大切にするなかで、“行動してみる”文化が育まれ、コミュニティからさまざまなキャンパスライフの活動が誕生しています。



## ボラスタッフ行動指針



## 主な活動

## note

多種多様なバックグラウンドをもつ大ナゴヤ大学の各メンバーにスポットを当て、noteマガジンで発信しています。

[note.com/dainagoya/](http://note.com/dainagoya/)



## クローズアップ

ボラスタッフ同士がお互いをもっと知るためのオンライン交流会。それぞれ興味の幅が広く、毎回驚きや発見があります！



# ワタシの気づき、変化



ふなちゃんさん

ふなちゃんさんの歩み @DNU  
2019.7 Meetup!に参加しボラスタ登録  
2019.10 「SOCIAL CASTLE MARKET」ボラスタ参加  
2019.11 総務メンバーとなる(主にMeetup!担当)  
2020.1 noteチームメンバーとなる  
2020.11 共同企画「瀬戸と粘土とやきものと」で授業コーディネーターデビュー

## 人との関わりから自分の「やりたい」と出会えた

- A1. 多様な人たちから「ナゴヤ」の魅力を聞いているうち、一人ひとり“まち”を捉える視点が違うことに気づきました。たとえば、その土地ならではの“地形”から読み解く人、長く根付いた“産業”を切り口にする人。同じテーマについて話していても、興味・関心によって「そういう見方があったのか！」と新しい発見を得られます。
- A2. これまで交わることのなかった人たちとの関わりが生まれ、刺激をもらっています。私自身に起きた大きな出来事といえば、“働き方”的変化。あるとき、ボラスタメンバーに誘われ、兼業・複業に関するイベントに参加しました。そこで出会った岐阜の企業の、商品にかける想いに共感。本業でディレクション業務をしている経験も活かせるのでは、と輪の中に飛び込んでみることに。複業にトライするまでに至りました。
- A3. 大ナゴヤ大学に関わるメンバーそれぞれが「好き」を大切に、「やりたい」に挑戦できるような場づくりをしていきたいです。

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワークのさまざまなかたちで活躍する人たちにお話を聞いてみました。  
それぞれにどんな変化が訪れたのでしょうか。

- Q1. 活動を通して、どんな「気づき」がありましたか？
- Q2. あなたの「暮らし」「考え方」「行動」に起きた変化は？
- Q3. これからどんな活動をしていきたいですか？



かわつさん

かわつさんの歩み @DNU  
2011.8 生徒として大ナゴヤ大学授業に初参加  
2012.2 ボラスタデビュー  
2016.11 初企画「大須のお寺で坐禅体験」で授業コーディネーターデビュー

## 初参加から10年経っても新たな発見が尽きない

- A1. なぜ大ナゴヤ大学で活動するのかと問われたとき、「やったった感」があるから」と答えたことがあります。この感覚は何だろう?と考え直していましたが、言い換えるなら「達成感」や「肯定感」です。授業づくりの過程は、試行錯誤の連続。周囲と相談・協力しながら良い授業を迎えたとき、「やったった感」を得られています。
- A2. 生まれも育ちも名古屋ですが、授業ではいつも地元の新たな姿に出会っています。「御器所の地名はかつて熱田神宮の神事に用いる器をつくっていたことが由来」など、意外と知らないことだらけ。また、授業を通じて魅力を知った製品は、実際に購入して暮らしに取り入れています。
- A3. これからもボラスタを続けたり、お世話になった人たちの活動をサポートしたり、少しづつ役に立てたら。チャレンジングな授業もつくってみたいですね。これまでに企画してきたような仏教やお寺に関する授業はもちろん、違うジャンルを掘り起こすのも楽しそう！



ちけさん

ちけさんの歩み @DNU  
2017.6 大ナゴヤ大学ボラスタ登録  
2018.4 ボラスタデビュー  
2018.7 しごとバー名古屋にて「農家のあり方を考えナイト」を企画  
2021.1 初企画「野菜の新常識」で授業コーディネーターデビュー

## 非日常を追い求めなくても日常にワクワクはある

- A1. 観光・レジャーなどの娯楽にあふれた時代。でも、もっと身近な日常の中にも“ワクワク”はあるんだなと思うようになりました。散歩の道すがら素敵な建築物を見つける、作り手の想いが見える食器を食卓に取り入れる。そんな自分なりの“ワクワク”を楽しんでいます。
- A2. 物事を丁寧に見るクセがつきました。歩いているとき「この道はなぜ大きく広がったのだろうか」と意味を考えたり、飲食店に行ったとき「このお皿はどんな職人さんが作ったんだろう？」と気になって調べてみたり。
- A3. 常に“ワクワク”に触れる場を生んできたこの組織を、さらに良くしていくよう考え続けていきたいです。2020年には「大ナゴヤの日」の在り方を再構築するワーキンググループを結成。また、ボラスタが集うオンライン年会の幹事も担当しました。大ナゴヤ大学には主体性をもった人たちが揃っているので、あとはパフォーマンスを最大化できれば、もっと面白いことができるはず！

## 楽しむ人たちの姿が行動を後押しをしてくれた

- A1. ボラスタ登録直後に、授業コーディネーターデビュー。ちょうど「FAAVO 名古屋栄」との連携が決まったタイミングで、第一弾のコラボ授業を任せられました。大ナゴヤ大学に関わるメンバーは、その人なりの多様な経験や働き方をしながら、楽しそうに活動をしている人ばかり。当時、大学生だった私は、将来に迷いがあった時期でしたが、「どんな選択をしても“間違い”はない。自分の心が動くことをやってみよう！」と思えるようになりました。
- A2. 授業で知多半島で暮らす移住者の話を聞く機会があり、海と山が日常にある豊かな生活に惹かれました。いつしか「遊びに行く場所」ではなく「住む場所」として考え始めるように。現在は実際に知多半島で暮らしています！
- A3. オンライン交流イベント「クローズアップ」の運営は、今後も継続予定。また、2021年3月に大学を卒業して生活環境は変化しましたが、いま住むまちから何か関わいたらと模索中です。



もかさん

もかさんの歩み @DNU  
2019.2 大ナゴヤ大学ボラスタ登録  
2019.2 ボラスタデビュー・授業コーディネーターデビュー  
2021.5 ボラスタ交流企画「クローズアップ」の運営を担う

## About



## －はたらく課－

## そんな“はたらく”との出会い

出会いという言葉には、人との出会いだけでなく、多種多様な物事との「めぐりあい」という意味もあります。はたらく課は、“はたらく”とのめぐりあいを生み出す活動です。今まで知らなかったはたらき方を知り、職業を知り、十人十色の人となりを知る。いろんな“はたらく”を知ることで、これから的人生が変わっていくかもしれません。大ナゴヤ圏のはたらき方、生き方にスポットをあて、“はたらく”を通じて人と人とをつなげています。

◎運営:2011年に、大ナゴヤ大学のボラスタが有志で集まり立ち上げた活動です。原則月1回定例ミーティングを開催しています。

## 2020年度　はたらく課のトピックス

まちの求人メディア  
「ハタラクデイ」をオープン

2018年頃より大ナゴヤ圏の求人記事を「ハタラクデイ」に掲載してきました。2020年7月、はたらく課のウェブサイトを一新し、求人メディアとしての機能をさらに強化。記者が職場に入り込み、ありのままの“はたらく”を伝えています。求人記事として人と職場をつなぐのはもちろん、読んだ人たちにとって気づきのある発信を大切にていきたいです。

掲載記事数

7  
本



## 「しごとバー名古屋 オンライン」を開催

いろんな仕事の人と気軽に出会える場「しごとバー名古屋」の企画・運営をしています。新型コロナウィルスの感染拡大を受け、リアルな場づくりが難しくなるなか、オンラインで多様なはたらく人たちとのトークセッションを配信。2020年5月には、ほぼ毎日配信を行いました。

しごとバー名古屋  
オンライン開催回数

26  
回



これまでの記事やイベントが見られます！「はたらく課」のWebサイトへ



## About

## 大ナゴヤノート.

まちを見つめて書きとめて

## まちを見つめて書きとめて

「大ナゴヤノート.」は、エディターたちがまちで「いいな」「面白いな」と感じたヒト・モノ・コトを、素直な言葉で記事にしていくメディアです。2021年3月に2周年を迎えました。十人十色の目線を通して、まちをいつもより少しだけじっくり見つめてみる楽しさを伝えています。

## 「大ナゴヤノート.」の2つのコンテンツ

## ノート.

エディターがまちを各自の目線で切り取って書きとめた記事です。書き手のオリジナルな「いいね」をきっかけに、読む人にもまちの新しい見方を見つけてもらえます。気になるページをめくってみてください。

2020年度実績  
ノート掲載記事数

21  
本

誰でも書くことに  
チャレンジできる  
学び合いの場に

大ナゴヤノートでは、誰でもエディターに挑戦できます。書くことを仕事としている人、普段は他の仕事をしている人、大学に通っている人。多彩な経験と感性に基づいてアドバイスし合うことで、お互いに気づきや学びを得る場となっています。大ナゴヤノートの編集ノウハウをお伝えする編集講座も開催。エディターとして一緒に活動してくれる人を随時募っています。

## オープノート.

「ノート.」の編集者たちがしているように、あなたの目線でまちを見つめに出かけてみましょう。同じ場所をめぐり、一人ひとりが見つけたものを共有できる機会をつくっています。

2020年度実績  
オープンノート開催件数

1  
回



これまでの記事やイベントが見られます！「大ナゴヤノート.」のWebサイトへ



### 食ゼミ



大ナゴヤ大学の通常講座「マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した生徒からの声で2010年に結成された「食ゼミ」。農業、調理、社会見学など、メンバー各自が興味のある分野で活動しています。2020年は新型コロナウイルスの影響で料理教室を開催することが難しい状況でしたが、今後はしっかりと感染対策を講じ、工夫しながら活動の場を広げていく予定です！



Webサイトへ

### 地球の生物部



「地球の生物部」は、まちの一角にある植栽スペースで毎月第1木曜の朝8時から1時間ほど、花植えや草取り、水やりなど植物のお世話をしています。公共空間を自分たちで楽しく手入れすることで、自分のまちに関心をもってもらうきっかけの場をつくりています。

◎生物庭手入れ：第1木曜8:00～9:00頃（自由参加）  
◎生物庭の場所：地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋交差点付近



Facebookページへ

### そうぞう室



「そうぞう室」は、「ナゴヤの視野を5°広げる」をコンセプトに掲げ、モノをつくる「創造力」と考えや思いをめぐらす「想像力」を育てていくことを目的とした研究室です。2020年は感染症拡大防止の自粛で難しい時期でしたが、オンラインイベントやインスタントカメラのワークショップを開催できました。今後も、少しだけ視野が広がるような楽しい会を企画したいと考えています。



Webサイトへ

### 大ナゴヤ放送局



### 大ナゴヤ大学で本屋さんを作りましょう！

「大ナゴヤ放送局」では、昨今のなかなか外出しづらい状況の中、オンラインでも愛知・岐阜・三重を中心とした“このまちを感じる”ことができないかと、「放課後ラジオ」というトーク番組を制作しています。大ナゴヤ大学の授業に関係した方々とともに、授業が生まれた背景や、授業の感想などをゆるトーク！ストリーミングサービスやYouTubeチャンネルで配信中です。



Webサイトへ

### 郡上大和酒づくり研究会



Facebookページへ

## まちの人と一緒につくる

大ナゴヤ大学が培ってきた、

まちの魅力を掘り起こして場をつくる力、多様な人と人をつなげる力。

それらを必要としてくださる人たちと一緒に、

新たな事業も生み出し、育て続けています。



## About

 やっとかめ文化祭

## 名古屋の歴史・文化と出会う

2020年で8年目を迎えた「やっとかめ文化祭」は、長い歴史の中で育まれてきた名古屋の魅力を一堂に集めた、都市文化の祭典です。2015年から、名古屋市や中日新聞などで構成される実行委員会の一員となりました。事務局業務、やっとかめ大使(ボランティアスタッフ)のコーディネート、「まち歩きなごや」の企画・運営を担い、名古屋の新しい見方を発見・発信しています。


 城子屋 shirokoya

## 名古屋城を学びの場に

名古屋城を、かつての「寺子屋」のように地域に開かれた学びの場とするプロジェクト。400年前、名古屋のまちが形づくられる上で重要な役割を果たした名古屋城。多彩なテーマと城を掛け合わせたプログラムを企画していきます。2020年度は、本丸御殿にも使われた“七宝”、名古屋城築城とも関わりの深い“木曽の林業”、地上に降臨したことでも話題になった“金鯱”をテーマに、3講座を実施しました。


 SOCIAL TOWER PROJECT

## 名古屋のまちに新しいカタチの”社交場”を

2012年にテレビ塔のある公園でスタートした「SOCIAL TOWER MARKET」。2019年には会場を名古屋城に移して開催し、2020年は改修工事を終えて新しくなった公園「Hisaya-odori Park」で9回目となるMARKETを開催できました。KIOSK、ポップアップショップ、まちの案内所に…と変幻自在な移動型店舗「SOCIAL TRUCK& PARKS」も完成し、ますます可能性を広げています。

DNUからの  
お知らせ

1

## まちのプロジェクトへの関わり

自主事業、実行委員会などで主体的に取り組む活動以外にも、まちで起きているさまざまなプロジェクトに関わっています。



## ナゴヤ商店街オープン

(主催:名古屋市)

商店街の空き店舗再生をめざし、事業のアイデア出しから開業まで取り組むプロジェクト。プレイベントの企画やPRに携わっています。

## ナゴヤをつなげる30人

(主催:名古屋市)

官民の多様なセクターから有志が集い、半年かけて名古屋をより良くするプロジェクトを生み出す事業。運営のお手伝いをしました。

## N2/LAB

錦2丁目を舞台に活動するN2/LAB。運営委員会の一員として企画の運営活動に関わるプロジェクトの推進支援等を実施します。

2

学生登録  
5500人突破!

2009年9月に開校した大ナゴヤ大学。2020年度内に、学生登録数が5500人を突破しました。これからもたくさんのみなさんに、「未来の可能性」と出会える授業を提供できるよう活動を続けていきます。

3

YouTubeチャンネル  
開設

大ナゴヤ大学の授業、はたらく課の「しごとバーナゴ屋」、大ナゴヤ放送局などがつくる動画や音声コンテンツの配信プラットフォームとして、YouTubeチャンネルを開設しました。ぜひチャンネル登録よろしくお願いします！

フォロー・登録してね



Facebook



Twitter



Instagram



YouTube

SNSでも  
大ナゴヤ大学の  
情報を発信！



## 身边にある大切な場を見つめ直す

理事長  
大野 嵩明



「まち」も「大学」も人が集まる場。それらを掛け合わせて生まれた「大ナゴヤ大学」。2020年度は、「人が集まる場とは何か?」と問われた1年でした。オンライン配信という選択肢も増えた一方で、リアルで人が集まるという、身近にあった環境の意味や価値を見直す機会となりました。授業と一緒に運営するメンバーと共につくる学び合いの場、知らない人との出会いなど偶然の出会いがある授業という場の大切さ、やっとかめ文化祭での「まち歩きなごや」を通して、身近なまちがあり続けていくことの尊さにも気づきました。「人が集まる場」をつくり続けるため、引き続きお力を貸してください。

## 変化をつくり、多様性を広げていきたい

理事・大ナゴヤ大学学長  
山田 卓哉



大きな変化の一年。これから社会の姿が見えない、不安定な状況が未だに続いています。そんな環境下でも大ナゴヤ大学への参加・応援、ありがとうございます。こうした困難に直面しているときであっても、実験的な試みに挑戦でき、私たちが活動していくけるのはみなさんのご支援があってこそ。変化のタイミングは、私たちの活動を見つめ直す機会にもなりました。2021年からリニューアルした「大ナゴヤの日」は、学び合いの場であると同時に新しい自己や世界との出会いの入口でもあります。次の一年は、変化を生み出し、多様性の土壤を広げていく年として前に進んでゆきます。

## 今だから生まれる「学び合い」を一緒に考えていきたい

理事  
小林 優太



簡単には答えが出ない問題と毎日向き合うような日々。当たり前が当たり前ではなくなる中で、「学ぶ」ことの意義も問い直されているように感じます。なにかを知ることが、今を生きる自分を守る大切な術である。人と意見や思考を交わすことが、道に迷ったときの指針となる。あらためて尊さに気づいたモノゴトがたくさんありました。大ナゴヤ大学が大切にしてきた、学びによってつながる文化もまた、今とこれからの社会において重要なものだと考えています。まだまだ不自由さを抱えながらも、それゆえに新たな思考や発想を生み出していく大ナゴヤ大学を、まちのみなさんと一緒につくっていきたいです。

## 大ナゴヤ大学サポーター

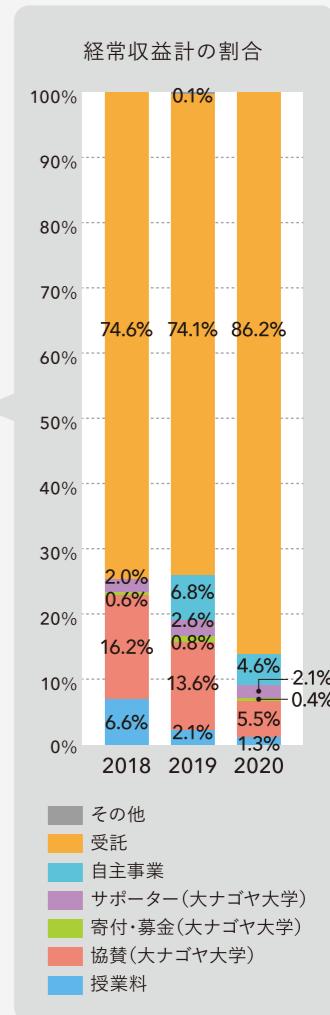
サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代・第2土曜に開催される授業の講師謝金等に充てさせていただきました。

	2018年度	2019年度	2020年度
月額・年額 サポーター	43名	41名	39名
ワンタイム サポーター	1名	1名	1名
受取会費	325,330円	373,143円	332,746円

## 活動報告

活動計算書(会計期間:2020年4月1日～2021年3月31日) (単位:円)

	2018年度	2019年度	2020年度
経常収益	①受取会費	325,330	373,143
	②受取寄付金	102,172	110,299
	③事業収益	16,053,961	13,988,891
	④その他収益	27	8,033
経常収益計	16,481,490	14,480,366	16,179,758
経常費用	①事業費	9,431,021	9,433,843
	②管理費	4,800,156	4,769,147
経常費用計	14,231,177	14,202,990	15,550,615
当期経常増減額	2,250,313	277,376	629,143
法人税等	319,000	129,600	191,700
当期正味財産増加額	1,931,313	147,776	437,443
前期繰越正味財産額	3,308,003	5,239,316	5,387,092
次期繰越正味財産額	5,239,316	5,387,092	5,824,535



2020年度の経常収益は16,179千円、経常費用は15,550千円でした。経常収益は前年度より増加したものの、2020年度より消費税の支払いが発生したため(管理費の増加分)、当期経常増減額は629千円にとどまりました。

## 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク

### 2020年度活動報告書

Dai Nagoya University Network  
ANNUAL REPORT  
2020

進行:齊藤 美幸

制作:COUPGUT

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク  
〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201(事務局所在地)  
TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp  
**dai-nagoya.univnet.jp**

